

(代表質問)

質問日	令和 6 年 9 月 25 日 (水)			質問方式	分割方式		
質問順位	1	会派名	自由民主党浜松	議席番号	33	氏名	須藤 京子
表 題	質 問 内 容						答弁者の職名
1 多文化共生社会のあり方 ～母語支援について～	多文化共生の都市として、先駆的な取組を続けている本市では、日本語教育もさることながら、母語支援や母国文化の継承についての支援を行っている。 そこで、本市が取り組む母語支援や母国文化の継承事業について伺う。 (1) 本市の母語支援事業の考え方とその必要性、また今後の支援事業のあり方についての見解を伺う。 (2) 現在、主に教育委員会が委託事業として行っている母語支援事業が始められたきっかけと、今日に至るまでの変遷について伺う。						中野市長 宮崎教育長
2 インターナショナルスクールの誘致について	本市に居住する外国人住民には、これまでも本市の産業や経済を支える力として、大きく寄与していただいているが、今後も技能実習生や特定技能外国人、そして高度外国人材も多く来日されることが予想される。今後ますます多国籍化の進展が予想される外国人住民の教育の問題は、本市の教育においても大きな課題であると考ええる。 そこで、他都市でも見受けられるインターナショナルスクールの誘致について、本市の考えを伺う。						中野市長
3 本市におけるこども政策について	令和 5 年 12 月「こども基本法」に基づいたこども大綱が閣議決定され、令和 6 年 5 月に「こどもまんなか実行計画 2024」が示された。地方自治体でも「こども計画」の策定に向けての動きがみられるが、本市におけるこども施策の展開について伺う。 (1) 今後、こども・若者に関わる施策を展開するにあたり、専門的な知見を有する人材が先導的役割を果たすべきではないかと考えるが、新たな人材の登用について市長の考えを伺う。 (2) 今後はこども・若者の意見表明機会が増えることが予想される。こども・若者の意見を育み反映させていく手立てについて伺う。 (3) 「こどもの権利に関する条例」の整備について、進捗状況を伺う。						中野市長 吉積こども家庭部長 〃
4 発達支援教育の考え方	これまでは発達に偏りのあるこどもたちは「発達支援」の名目で、個性や特性に合わせてきめ細かな取り出し支援を行い、教育効果を上げてきた。しかしながらインクルーシブ社会の実現を考える時、世界的な潮流と国						宮崎教育長

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	連の指摘を受け、教育の場面での取組を大きく考え直す時が来ているのかもしれないと感じる。本市として今後はどのように発達支援教育のあり方を考えていくのか伺う。	
5 障がい者と共に暮らす社会	第4次浜松市障がい者計画では、基本目標として「地域で安心して暮らすための地域社会への理解促進」があげられている。インクルーシブ社会では、障がいのある人たちが地域の中に居場所を見つけ就労の機会を得て、自立して暮らすことが重要であるとする。 そこで、以下について伺う。 (1) 市職員の障がい者雇用の現状と今後の展望について (2) 福祉就労支援と一般就労の現状と課題について (3) 地域での居場所や地域活動に参加するために必要な取組について	田中総務部長 小松健康福祉部長 〃
6 真のジェンダー平等について ～女性特有の健康課題から～	近年、話題となっているジェンダーギャップ指数の向上に資するため、また真の意味でのジェンダー平等を実現するための本市での取組について伺う。 (1) 本市では女性特有の健康課題への理解を深める取組を行っているが、真のジェンダー平等を実現するために必要な今後の施策の展開について伺う。 (2) 多様性への配慮も含めて、実際には成長の早い段階、幼少期から身体づくりや健康課題の違いなどについての教育の機会を作るべきと考えている。現在は健康増進課で実施している「思春期教室」や、プレコンセプションケアをもっと早期に実施する考えはないか伺う。	新谷市民部長 平野医療担当部長
7 学校プールを巡る課題について	現在の学習指導要領によれば、水泳の授業は小学校1年生から中学校2年生までは「必修」とされている。しかしながら近年、全国的に施設としての学校プールの老朽化の問題もあり、学校の屋外プールの設置率が減少している。こうした状況に伴い、水泳の実技授業を取りやめるところや学校外の民営や公営のプールを活用して授業を継続しているところもあると聞く。 そこで、本市の状況について伺う。 (1) 水泳授業の実態と今後の授業のあり方について (2) 小・中学校プールの現状について (3) 民営や公営プールの活用について (4) 公営プールの役割について	奥家学校教育部長 〃 〃 杉田スポーツ振興担当部長

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
8 体育館の空調設備の導入について	小・中学校施設では、順次エアコン設置が進んでいるが、体育館への設置は行われていない。昨今の急激な気温上昇で熱中症警戒アラートが発令される状況を鑑みると、避難所利用の観点からも空調整備は急務であると考え。一部学校では、スポットクーラーなどを活用して対策を講じている事例もあるようだが、体育館の空調整備に向けた現状と、非常時を含む今後の対応について伺う。	中野市長
9 新庁舎建設に向けて	かつて、市庁舎建設について検討された時期があった。その後この問題は中断され、そのまま 20 年以上が経過している。現在の庁舎には狭隘化や老朽化等の課題が顕在化してきている。中断されていた市庁舎の建設に向けた協議の再開についての見解を伺う。	中野市長
10 水道料金について	水道料金については、これまでも何度か、議会質問でも取り上げられており、市民も大きな関心を寄せている。改めて市長の見解を伺う。	中野市長